

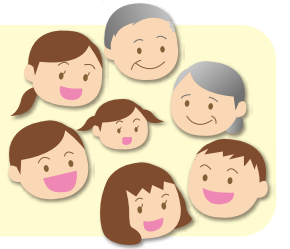
2022
予算

感染症対策の後退、 公共施設の廃止皮切り…

日本共産党
反対

市政施行55年目を迎えた2022年度。流山市の予算は一般会計予算で730億1千万円（全体で1178億5千万円余）となりました。日本共産党市議団は、前年度比30億円余も増加した過去最大規模の市税収入や、水道企

業会計からの5億円納付等、好条件が福祉などに活かされていないと反対しました。さらに、「流山に住んで良かった!」「流山で働けて良かった!」と思える市政を目指し、予算の組み替え動議や条例改正案を提案しました。



市議会初 予算組み替え動議を提案

- 予算減額（予算執行の停止） …… 約6億2000万円
 - ・ 不要不急の「白みりんミュージアム」関連事業 …… 5000万円
 - ・ 運動公園地区一体型土地区画整理事業 …… 5億1000万円
 - ・ 東部市民プール解体工事等諸経費 …… 6000万円
- 歳出増額（新規事業の執行） …… 約5億9000万円
 - ・ 私立保育士等、市公共サービスを担う全従業員等への危険手当支給 …… 5億円
 - ・ 感染陽性者を搬送した救急隊員へのPCR検査 …… 1400万円
 - ・ 市立保育士の消毒作業に対する防疫手当支給 …… 300万円
 - ・ 小中学校就学援助の対象項目拡大（卒業アルバム代追加） …… 242万円
 - ・ 学校給食の負担軽減（3人目の子どもについては学校給食無償化） …… 2800万円
 - ・ 東部市民プールのろ過機等更新事業 …… 4000万円

多子世帯への負担軽減 条例提案

国民健康保険は、年齢や経済力を問わず、世帯の人数分に乗じて、保険料（均等割）を課す制度です。全国的な改善運動をうけ、政府や市も、就学前までは保険料を半額にする制度を4月からスタートさせます。

日本共産党市議団は、さらに一步前進をと、3人目以降の子どもが18才になるまでは保険料（均等割）を免除する条例改正を提案。流山市年間予算の0.006%のやりくりで実現できることが分かりました。



予算の概要・党の見解

今年度予算案は、不要不急事業へのバラマキ等がある一方、市内への保健所誘致には動かず、定期・頻回検査も未実施。救急隊への検査も廃止、市保育士への防疫手当縮減など感染対策が後退。また、ケースワーカー一人の虐待相談が140件を超えるなど市職員の不足が常態化し、さらに東部市民プール廃止を皮切りに、公共施設の廃止・統廃合をスタートさせました。

市議会 ねほりはほり

ロシアの武力侵攻に 抗議します

日本共産党市議団は、「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議案」を2月28日、議会運営委員会に提案。しかし、議長が所属する流政会等から「提出期限が過ぎている」との理由から、決議案が提案できないことに…。しかし、戦況の悪化、全国各地方議会での決議採択を受け、3月22日市議会最終日冒頭、議長は「ロシアの軍事侵攻に強く抗議する」と発言しました。

法的根拠を持った決議採択など流山市議会の改善が必要です。

校則

「ツーブロックにしたい…」

「ブラック校則」全廃…都立高校の取り組みをきっかけに、市内中学生から「僕もツーブロックにしたい」とのメールが…。

「人格形成の場」である市内小中学校にはルールは必要ですが、一方的に校則を押し付ける時代ではありません。日本共産党市議団は、各発達段階を踏まえ、各学校が内発的・主体的に校則をよりよく改善できるよう寄り添っていきます。



身近な要求実現



木谷工業前市道の道路補修
(名都借)
高橋あきら



念願のエレベーター設置
(北部公民館)
植田和子



自転車で通学 生徒の希望かなう
(おおぐろの森中学校)
小田桐たかし



県土木事務所が県道歩道の改修を約束(加4丁目)
いぬい紳一郎